

## ～ 篠崎街道と御番所町の史跡と石造物～

江戸川を境に千葉県と隣接する江戸川区。今井の渡しから小岩の史跡・御番所町跡へと江戸川西岸を北上し、庚申塔十数基を中心に石造物を探訪します。

特に青面金剛像が登場する以前の庚申塔5基のほか、西光寺の線刻地蔵立像碑や小岩市川の渡しに関連する道標・常燈明などが見どころです。

- 一之江駅～瑞江大橋～ ①誠心寺(寛文年間の板碑型庚申塔2基・元禄の笠付円柱型の庚申塔など)  
 ～②香取神社(富士塚・庚申塔)～円照寺～ ③浄興寺(庚申塔)～金蔵寺～鎌田川親水緑道  
 ～④安養寺(庚申塔)～さくら公園～ ⑤明福寺(多宝塔・佃観音)～ ⑥道祖神  
 ～⑦地蔵堂(享保二年銘の三十四観音庚申塔・庚申塔群)～鎌田宿＝バス＝上鎌田(昼食)  
 ～⑧西光寺(線刻地蔵立像碑・万治三年銘の地蔵像庚申塔など)＝バス＝一里塚～御番所町跡  
 ～⑨宝林寺(常燈明・寛文十年銘の地蔵像庚申塔)  
 ～⑩慈恩寺道道標～ ⑪観世音道道標～京成江戸川駅

## 江戸川

江戸川は、延長約60km。かつては、千葉県浦安市と江戸川区の間を東京湾に流れて江戸の水運を担っていたが、大正8年(1919)市川市に江戸川放水路を開削、もとの江戸川を旧江戸川と呼ぶようになった。

## 旧今井村・今井の渡し

「今井」という地名は「井は江と同義であり、新開の地で、江戸川水辺の新しい津(船着場、湊)であった」といわれ、戦国時代の「小田原衆所領役帳」には、既に上今井と下今井に分かれて載っている。連歌師宗長は「東路のつと」(永正6年、1509)で「今井という津よりおりて、浄土門の寺浄興寺にて、むかへ馬人待ほど、住持出て物語の序に、発句所望有し・・・」と書いている。

## 1. 誠心寺(じょうしんじ)

浄土宗で、薬王山慈眼院と号す。近在の金蔵寺の隠居。文明年間(1469～1486)の創建といわれ、始めは天誉竜顔が草庵を結び、のちに行營清教和尚が一寺として創建したといわれる。

☆石造物(庚申塔は別紙参照)

1. 板碑型庚申塔＝寛文8年(1666)銘 「イ」他梵字
2. 板碑型庚申塔＝寛文13年(1673) 女子法名4名、女子名23連記
3. 笠付円柱型庚申塔＝元禄10年(1697)銘
4. 聖観音立像＝舟形光背・寛文7年(1665)銘

☆江戸川区文化財：

1. 木造聖観世音菩薩立像＝「新編武蔵風土記」では「長島の海中より出現した」とある。南北朝頃と推定。
2. 木造薬師如来立像(室町時代の製作と推定)
3. 木造阿弥陀如来坐像(江戸時代の作で、像底に「大仏師石見造」と彫記。

## 法安寺跡の地蔵堂

今蔵寺の末寺だった。24日が縁日で住民の信仰が続いている。

☆石造物：地蔵菩薩像・弥勒菩薩像(ともに丸彫で年不詳)



## 2. 香取神社

旧上今井村の鎮守、永禄7年(1564)の創建という。円照寺が別当。十一面観音を奉安する。

☆区文化財：今井の富士塚=昭和5年に上今井割菱八行講が築造。力石や身録の塔が埋め込まれている

☆石造物：青面金剛像庚申塔=寛延4年(1751)造立 顔がユニーク

### 円照寺

☆石造物：1. 正観音坐像=享保10年(1725)丸彫像 2. 大日如来坐像=安永8年(1779)丸彫像

3. 宝篋印塔=安永6年(1777)

## 3. 浄興寺(じょうこうじ)

浄土宗で龍龜山清泰院と号す。文永3年(1266)源清和尚が草庵を結んだのが始まりといわれる。北条氏康の「武蔵野紀行」(天文15年・1546)、連歌師柴屋軒宗長の紀行文「東路のつと」(永正6年・1509)に記録がある。

☆区文化財：

1. 木造大塚氏先祖夫妻坐像=江戸時代初期の作
2. 大塚宗蔵の墓=江戸時代に大塚家分家を継ぎ、梨栽培に尽力した宗蔵と家族の合葬墓
3. 新川梨の碑=大塚宗蔵が始めた梨栽培は、文政4年(1821)に幕府に献上、新川梨と呼ばれ特産物になった。
4. 寺子屋師匠の筆子塚=歴代住職の力誉上人(24世)、順定和尚(25世)、声誉上人(26世)・随誉上人(27世)の3基の筆子塚がある。
5. 琴弾きの松の跡=北条氏康が天文15年(1546)「松風の吹音きけばよもすがら しらべことなるねこそかはらね」と詠んだと伝えられる。

☆石造物：青面金剛立像庚申塔=宝永3年(1706)舟型

### 金蔵寺(こんぞうじ)

浄土宗で、開山は覚順和尚が足利幕府4代將軍義持公の時、当所に草庵を結び、第6世本蓮社龍誉吟起雲白道上人が宝徳2年(1450)に一字を建立して、宝徳山松壽院金蔵寺と称した。

☆区文化財：阿弥陀如来立像=鎌倉時代に造像、奈良仏師の系統を引く像。

☆石造物：「南無阿弥陀仏」供養碑=慶長18年(1613)板碑型「施主花屋妙栄」

## 4. 安養寺

永禄10年(1567)栄三大和尚の開山。「こんにやく閻魔」を祀る。

☆石造物：青面金剛立像庚申塔=宝暦3年(1753)駒型

## 5. 明福寺

浄土宗で、天川山寂光院と号し、親鸞聖人が立ち寄ったとの由縁のある寺。親鸞聖人が雨乞いをしたという「鏡が池」、袈裟を掛けた「けさ掛けの松」の伝承が残る。

☆区文化財

1. 木造親鸞聖人坐像=ほぼ等身大の写実性に富んだ坐像で、鎌倉から南北朝にかけての制作と推定される。
2. 木造聖徳太子立像=太子孝養像。制作は室町時代と考えられる。

☆石造物

1. 塔内に小坐像のある多宝塔
2. 佃観音=明治3年に佃島の漁師が東京湾に漁に出た時、網で拾い上げた観音様といわれ、子育て観音として祀られている。



## 6. 道祖神

建立月日は不詳。家号を「どうろくじん」と呼ばれる内山家が大切にし、地区の人たちの深い信仰を集めてきた。



## 7. 地蔵堂

篠崎街道の旧鎌田村の中心地、堂前には3基の青面金剛、堂内には享保5年(1720)の庚申塔と地蔵像・如意輪観音像がある。

☆区文化財

1. 下鎌田宿の念仏講（無形民俗）
2. 観音庚申塔＝銘によれば、享保5年(1720)、秩父34ヶ所観音霊場を巡拝した下鎌田村の念仏講中35人が造立。高さ119cm、横50cmの碑面7段に34体の観音像が、下部には三猿が刻まれている。



☆石造物

1. 地蔵立像（堂内）＝元禄4年(1691)銘
2. 如意輪観音坐像（堂内）＝寛保3年(1743)銘
3. 青面金剛像庚申塔3基（堂前）＝延享5年(1748)、文化元年(1804)天衣をまとう像、天保10年(1839)腰に龍をまとう、二童子付



## 篠崎街道

成田山不動明王石造道標（区文化財） 「東部区民館入口」バス停前  
文政9年(1826)建立で、正面に「成田山不動明王」台座正面に「右行徳」「左市川」としてされている。

## 8. 西光寺 南篠崎町1-1

薬王山蓮華院と号し、真言宗豊山派正福寺（葛飾区）の末寺で、永正2年(1505)法伝中僧都の草創。

☆区文化財：

1. 石造線刻地蔵菩薩立像碑：研磨された碑の表面に地蔵菩薩画像が陽線刻されている。背面に西光寺18世因阿和尚の名が刻され、天明年間(1781～89)頃の造立と推定される。
2. 絹本着色六地蔵菩薩画像(2幅)：室町時代の作と推定される。
3. 地蔵菩薩像庚申塔：万治三年銘

☆石造物：

1. 青面金剛像庚申塔＝宝暦9年(1759)
2. 寛文元年銘の丸彫の大日如来坐像と阿弥陀如来坐像



## 小岩の一里塚と区登録史跡「御番所町跡」

小岩は古くから武蔵と下総を結ぶ水陸の交通の要衝の地で、江戸時代には、小岩市川の渡し場に関所が設けられ御番所町が形成され、また成田不動尊や岩槻の慈恩寺への参詣道でもあった。

昔は元佐倉道（現千葉街道）と岩槻道が交差する角の「一里塚」には、「天王社」（須賀神社）の小祠があった。昭和39年北野神社に合祀され今はその面影もない。

### 晴立山本蔵寺

正保4年（1647）市川真間山弘法寺の日晴上人が建てた晴立寺に、明治43年（1910）に浅草新寺町から移転してきた大雄山本蔵寺が合併し、現在名となった。

木造日朗・日像聖人坐像（区文化財）を有するほか、境内には小岩市川関所役人の中根平左衛門代々の合葬墓がある。



### 9. 宝林寺

戦国時代末期、文秀法印（慶長12年、1607没）の草創で、本尊は不動明王をまつる。本堂前には江戸時代に小岩市川の渡しにあった常燈明、墓地には旧伊予田村の開拓者・篠原伊予の墓と伝えられる石塔がある。

☆区文化財：

1. 常燈明＝総高約4m、天保10年（1839）に成田山参詣の千住総講中の人たちにより、小岩市川の渡し場に旅の安全を祈って建てられ、昭和9年（1934）の江戸川改修にあたり、現在地へ移された。
2. 地藏菩薩像庚申塔：寛文10年（1670）

☆石造物

1. 青面金剛像庚申塔：貞享3年（1686）
2. 駒型文字碑庚申塔：文化元年（1804）

### 10. 慈恩寺道石造道標（区登録有形文化財）

関所から来ると正面左に臨む場所にある。安永4年（1775）の建立。正面には「右せんじゅ岩附志おんじ道」「左り江戸本所ミち」、右側面には「左りいちかわミち」、左側面にも「右いち川みち」と刻まれている



### 北野神社

旧伊予田村の鎮守。江戸時代にはこの地にあった稲荷神社と北野神社の二社を明治42年（1909）合祀、北野神社となる。さらに一里塚にあった須賀神社を合祀し、須賀神社の年中行事「茅の輪くぐり」（区指定無形文化財）をここでやっている。力石あり。

### 11. 若竹寿司店前の2基の道標

☆区文化財：

1. 伊予田の観世音道道標＝安永4年（1775）の建立。元はやや北にあった。正面に「是よりあさくさくわんせおん（観世音）道」側面に「右舟はし迄三りいちかわ道」「左にいしく（新宿）道、いわつきちおんじ（慈恩寺）迄七り」と刻まれている。

2. 中小岩の成田道道標＝文久2年（1863）地元の中川平蔵・田辺茂助が建立。正面「左成田ミち」。元は岩つき通りの角（北小岩4-3-8）にあり、岩槻道から成田道（佐倉道）への向う道しるべであった。

